

科 目 名	国語科指導法					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	金 久 慎 一・橋 本 幸 雄						
開 講 年 次	2 ・ 3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	国語科教育学の理論を授業に応用し、実際の場での活用法が理解できるようになることを目指す。具体的には模擬授業を通して次のような内容の理解を目指す。1、国語科教育を行う際に、どのような領域があり、どのような指導過程が必要なのか 2、教材教具を作成することの意義 3、授業を成立させるための発問や板書のあり方 4、児童が自己の伸びを自覚できる学習評価のあり方 等々である。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 学習指導要領から小学校で学ぶ3領域1事項の内容を習得し、系統化できる。 2) 年間を通してのカリキュラム作成の際のポイントを理解する。 3) 授業を構成する際に必要な教材研究の方法や資料の作成法が理解できる。 4) 児童の思考の深まりに応じながら授業を構成することの重要性を理解できる。 5) 各領域の指導内容に即応した指導事項を整理し、指導案づくりに活用することができる。 6) 模擬授業を構想・実践することを通して発問や板書法について理解できる。 7) 形成的評価や総合評価の意義について理解できる。						
学 習 方 法	グループ別研究活動 模擬授業 講義						
テキスト及び参考書等	文部科学省「小学校学習指導要領解説 国語編」(2008年8月 東洋館出版社) 文部科学省検定教科書「国語二上 (たんぽぽ)」(2010年 光村図書) 「これだけは身につけたい国語科基本用語」(2007年4月 明治図書)						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				50	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		○				20	
授業態度				○		10	
受講者の発表				○			
授業への参加度				○		20	
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション (国語科教育の概括)						
第 2 週	国語科教育の役割と課題について考えたり、小学校学習指導要領の意義について考えたりする。						
第 3 週	国語科授業が成立するための教材研究と授業展開のポイントについて考える。						
第 4 週	小学校学習指導要領国語科の低・中・高学年別領域の指導系統をまとめる。						
第 5 週	模擬授業グループを作成し、授業に向けての教材研究を行う。						
第 6 週	模擬授業グループごとに教材研究や資料づくりを行う。						
第 7 週	文学文や説明文の模擬授業1を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 8 週	文学文や説明文の模擬授業2を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 9 週	文学文や説明文の模擬授業3を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 10 週	文学文や説明文の模擬授業4を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 11 週	文学文や説明文の模擬授業5を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 12 週	文学文や説明文の模擬授業6を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 13 週	文学文や説明文の模擬授業7を行い、授業展開のあり方について検討し合う。						
第 14 週	小学校現場で活躍中の講師を招聘し、国語科授業を成立させるための発問や板書のあり方について考え合う。						
第 15 週	まとめ (レポートテストを含む)						
第 16 週							
備 考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返り、本時学習で学ぶべき内容の確認をしておくこと。授業後は、記録ノートをもとに、理解できた内容を確認すること。						